



およその大きさ 60×35×15cm

**形の特ちょう (ニックネーム)**

**色の特ちょう**

- ・白っぽいゴマ塩状に見える
- ・等粒状組織 (肉眼で有色鉱物・白色鉱物が十分に見える)

**表面の特ちょう**

- ・「ゴマ塩」はどの部分も均質一様である

\* 石材名：御影石(みかげいし)

**側面の特ちょう**

- ・表面と変わりはない

**含まれているもの**

- ・黒色物質には長柱状の結晶が多い
- ・白い結晶
- ・やや淡い桃色の結晶もある

**その他の特ちょう**

- ・斜光線を当てると黒色の結晶が長柱状であることが判りやすい(角閃石)
- ・白色鉱物は長石であろう
- ・わずかに灰色で透明な部分もありそう (石英が少し含まれるかも)
- ・黒雲母は確認できない
- ・有色鉱物が比較的少ない
- ・磁石に付く (磁性鉱物が含まれる)



メモ

**【観察メモ】**

\* **深成岩**とはマグマが地下深部にあってひじょうに長い時間かかって冷え固まった岩石。長い時間の間にマグマから何種類もの結晶が成長し、液体はすべて粗粒な結晶のかみ合わせに変化したもの (**等粒状組織**)

\* 深成岩はマグマの成分を反映し色調 (無色鉱物と有色鉱物の比)が異なる

岩石名

閃緑岩または石英閃緑岩 (深成岩)